平成24年６月26日

各　　位

会 社 名　　JALCOホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　田辺　順一
（ＪＡＳＤＡＱ・コード6625）
問合せ先
役職・氏名　管理本部長　大浦　隆文
電　話　　050－5536－9824

子会社の事業譲渡及び子会社（孫会社）の異動（出資持分譲渡）に関するお知らせ

当社及び当社連結子会社の株式会社ジャルコ（所在地：東京都文京区湯島一丁目６番１号、代表取締役：田辺順一、事業内容：各種電子機器用部品の製造販売、電子機器の製造販売等、資本金の額：12億32百万円、以下、「ジャルコ」といいます。）は、本日開催の取締役会において、電子機器用部品事業の一部、及びジャルコの子会社（当社の孫会社）である杭州佳路克電子有限公司並びにJALCO ELECTRONICS HONGKONG LIMITEDのジャルコ保有出資持分の全てを譲渡することに関する基本合意書を、東北タツミ株式会社（以下、「東北タツミ」といいます。）との間で締結すること（以下、「本件譲渡」といいます。）を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．事業の譲渡並びに出資持分譲渡の理由及び譲渡先の決定理由

ジャルコが営む電子機器用部品事業の主たるマーケットであるAV家電市場は、デフレの進行による最終商品価格の下落と安価なデジタル電子部品を製造するアジア企業の台頭により、厳しい競争に晒されております。

このような状況の中、ジャルコは、平成23年８月に東北タツミとの間で「業務委託基本合意書」を締結し、福島工場で行われていた「精密プレス部品及び機構部品の製造業務」「倉庫管理業務」を東北タツミに委託することで製造経費の変動費化を実現するなど、あらゆるコストの見直し、削減に取り組んでまいりました。しかしながら、売上高の減少に加えて、急激な円高の進行や原材料価格の高騰の影響を吸収できなかったことなどにより製造経費のコントロールが困難となり、平成24年３月期においても連結営業損失５億34百万円を計上し、事業の採算性の悪化に歯止めをかけることができない状況が続いております。

このため、当社及びジャルコは、電子機器用部品事業の収益性改善を図るためには、製造部門を第三者に譲渡し、製造経費に関するリスクを排除するとともに、AV家電市場のみに拘ることなく開発、販売部門に特化して、事業活動を展開することが最良の方法と判断いたしました。また、「２．本件譲渡後の電子機器用部品事業の運営について」にて詳しく記載いたしますが、今後、ジャルコが収益性の高いハイスペックな電子部品等の開発・販売を進めるにあたっても、製造部門を第三者に譲渡し、当社グループが保有する経営資源を開発、販売部門に集中させることで、グループ全体の損益の改善を図り、財務状況の改善を図ることといたしました。

製造部門の譲渡にあたっては、譲渡先との交渉の結果、AV家電市場に関連する国内外における既存のお客様とのお取引、及び、これらにかかる全ての製造・販売部門（含む海外における製造、販売の拠点である海外子会社　杭州佳路克電子有限公司、JALCO ELECTRONICS HONGKONG LIMITEDへの全出資持分も含む）を譲渡するという内容となりました。

本件譲渡の譲渡先の選定に関しましては、既存顧客とのお取引を円滑に承継し、かつ安定的に継続することが可能であるか否か、及び本件譲渡後においても上記のとおりジャルコにおける電子機器用部品事業の製造部門を担っていただける関係性が維持できるか否か等の観点から検討いたしました。この点、東北タツミについては、既に福島工場における製造業務等を委託しており、安定的な製品供給が可能な体制を保有していることを確認済みであります。また、同社の代表を務める吉岡　勉氏は、当社の取締役、ジャルコの代表取締役社長を歴任しており、当社グループとの関係が良好であるだけでなく、ジャルコにおける電子機器用部品事業の特性、問題点等も知悉されています。以上より、当社及びジャルコは、東北タツ

ミが、最良の事業譲渡先と判断し、同社を本件譲渡の譲渡先と決定したものであります。本件譲渡の範囲・方法・条件等については、今後、協議を進め、詳細が確定次第、お知らせいたします。

２．本件譲渡後の電子機器用部品事業の運営について

ジャルコは、今後、電子機器用部品事業において、

・中国華南におけるODMビジネスを中心とするAV家電及びその他デジタル家電におけるハイスペックな電子部品の開発・販売

・パチンコ、パチスロ等のアミューズメント機器に関する電子部品の開発・販売

・パチンコ、パチスロ分野におけるアミューズメント機器以外の機械・機器の開発・販売

を進めてまいります。特に、アミューズメント市場においては、当該事業への参入障壁が高く、一般的に新規参入が困難とされていますが、当社グループでは、株式会社ジャルコアミューズメントサービス（以下、「JAS」といいます。）が遊技機レンタル・割賦販売事業を営んでおり、JASが構築・拡大している業界内でのネットワークを活用することで事業を進めることが可能であります。加えて、アミューズメント機器につきましては、日本独自のビジネス色が強いため、グローバルな競争に晒されにくく、製品価格の下落が少ないことから、高い収益を確保することが可能であると判断しております。

ジャルコは、上記の事業を推進するにあたって、譲渡先の決定理由においても記載のとおり、東北タツミと一体となって進めていく意向であり、東北タツミが同様の方針を持っていることも確認しております。ジャルコにおいては、本件譲渡後においても、開発、販売体制を確保しているだけではなく、製造業務全般に関して、高いレベルでの指導をするための人員も確保しており、東北タツミが持つノウハウと融合することで、製造体制（品質管理、デリバリー管理を含む）が強化されることを見込んでおります。

また、本件譲渡後も、ジャルコが、電子機器用部品事業にかかる商標・トレードマーク等の無形財産について、商標権その他の知的財産権を引き続き保持することを、東北タツミからはご同意いただいており、開発から製造、販売までのリードタイムの関係で、本件譲渡後一定期間においては、上記事業にかかる売上が実現しない可能性がありますが、その間も、上記無形財産にかかる使用料を東北タツミから収受することで、売上の確保を見込んでおります。

以上により、当社は、現在のAV家電市場に特化した電子機器用部品事業と比較しても、それを上回る規模と収益性を持つ事業に成長することを期待しております。

今後、東北タツミに、電子機器用部品事業の製造部門を担っていただくにあたっては、競業避止義務への対応を含めて、別途業務委託契約等を締結の予定ですが、こちらにつきましても、協議を進め、詳細が確定次第、お知らせいたします。

３．事業譲渡の概要

（１） 譲渡事業内容

ジャルコが行う電子機器用部品事業にかかる製造部門及び販売部門

（２）譲渡事業の経営成績

	平成 23 年３月期	平成 24 年３月期	平成 25 年３月期（見込み）
電子機器用部品事業売上高（ａ）	3,916,094 千円	1,884,150 千円	1,510,000 千円
連結売上高（ｂ）	3,916,094 千円	1,890,277 千円	1,760,000 千円
比率（ａ／ｂ）	100％	99.7％	85.8％
営業利益又は営業損失（△）	△289,370 千円	△533,060 千円	1,617 千円

（注）平成 25 年３月期につきましては、平成 24 年５月 18 日発表「平成 24 年３月期決算短信　１．経営成績　次期の見通し」に記載の数値を基に記載しております。

（３）譲渡資産、負債の項目及び金額

譲渡資産の範囲は当該事業にかかる棚卸資産、リース資産を含む設備機器及び子会社出資持分となりますが、これらの項目及び金額、並びに負債の項目及び金額につきましては、確定次第、お知らせいたします。

（４）譲渡価額及び決済方法

確定次第、お知らせいたします。

４．出資持分譲渡の概要

（１）杭州佳路克電子有限公司

①異動する子会社（孫会社）の概要

ａ．商号　　杭州佳路克電子有限公司

ｂ．代表者、役職　　董事長　田辺　順一

ｃ．本店所在地　　No.8,(Yang Building Industrial Park) Baijia Yuan Road,Liuxia Town,Xihu District,Hangzhou City,Zhejiang Province,China

ｄ．設立年月　　平成 13 年７月

ｅ．主な事業内容　　電子機器用部品製造販売

ｆ．事業年度の末日　　12 月

ｇ．従業員数　　167 名(平成 24 年３月 31 日現在)

ｈ．資本金の額　　27,275,000RMB（平成 24 年６月 25 日現在　約３億 42 百万円）

ｉ．出資割合　　株式会社ジャルコ(100%)

J．最近事業年度における業績の動向

	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期	平成 23 年 12 月期
売上高	940,256 千円	635,130 千円	408,516 千円
営業利益	90,051 千円	47,318 千円	7,474 千円
経常利益	94,820 千円	38,760 千円	7,556 千円
当期純利益	75,794 千円	75,029 千円	2,631 千円
総資産	428,510 千円	298,731 千円	233,158 千円
株主資本	9,022 千円	49,161 千円	36,631 千円
１株当たり配当金	―円―銭	―円―銭	―円―銭

②譲渡出資持分、譲渡価額及び譲渡前後の所有出資持分の状況

ａ．異動前の出資持分　　ジャルコ 100％

ｂ．譲渡出資持分　　100％

ｃ．譲渡価額　　確定次第、お知らせいたします。

ｄ．異動後の出資持分　　０％

（２）JALCO ELECTRONICS HONGKONG LMITED

①異動する子会社（孫会社）の概要

ａ．商号　　JALCO ELECTRONICS HONGKONG LIMITED

ｂ．代表者、役職　　Managing Director 大川　章

ｃ．本店所在地　　Room 712, 7/F, Sterling Centre 11 Cheung Yue Street,Cheung Sha Wan, Kowloon Hong Kong

ｄ．設立年月　　平成５年 10 月

ｅ．主な事業内容　　電子機器用部品販売

ｆ．事業年度の末日　　３月

ｇ．従業員数　　５名(平成 24 年３月 31 日現在)

ｈ．資本金の額　　2,700,000HK$（平成 24 年６月 25 日現在　約 27 百万円）

ｉ．出資割合　　株式会社ジャルコ(100%)

J．最近事業年度における業績の動向

	平成 22 年３月期	平成 23 年３月期	平成 24 年３月期
売上高	1,072,826 千円	1,735,357 千円	941,241 千円
営業利益	24,001 千円	69,505 千円	22,974 千円
経常利益	23,749 千円	73,221 千円	23,689 千円
当期純利益	24,550 千円	17,564 千円	23,689 千円
総資産	282,859 千円	298,360 千円	228,710 千円
株主資本	9,710 千円	27,275 千円	50,964 千円
１株当たり配当金	―円―銭	―円―銭	―円―銭

②譲渡出資持分、譲渡価額及び譲渡前後の所有出資持分の状況

ａ．異動前の出資持分　　ジャルコ 100％

ｂ．譲渡出資持分　　100％

ｃ．譲渡価額　　確定次第、お知らせいたします。

ｄ．異動後の出資持分　　０％

５．譲渡先（東北タツミ株式会社）の概要

（１）商号	東北タツミ株式会社
（２）本店所在地	福島県福島市伏拝字沖 51－６
（３）代表者の役職・氏名	代表取締役社長　吉岡　勉
（４）事業内容	デジタル家電製品組立・車体制御機器組立 業務請負・環境分析
（５）資本金の額	50 百万円
（６）設立年月	昭和 55 年 12 月
（７）純資産	△52,132 千円
（８）総資産	853,327 千円
（９）大株主及び持株比率	吉岡　勉 92％
（10）上場会社と当該会社の関係等	資本関係：該当事項はありません。 人的関係：該当事項はありません。 取引関係：株式会社ジャルコとの間で「業務委託基本合意書」を締結し、「精密プレス部品及び機構部品の製造業務」「倉庫管理業務」を委託しております。 関連当事者への該当状況：該当事項はありません。

６．日程

平成 24 年６月 26 日　　基本合意書締結

平成 24 年９月 28 日　　譲渡日（予定）

ジャルコと東北タツミは、基本合意書において、平成 24 年９月 14 日までに最終合意書を締結することを約しております。最終合意書の締結日につきましては、日程が決まり次第、お知らせいたします。

なお、本件譲渡については、会社法上及び定款上、当社の株主総会の承認は必要とされていないため、当社の株主総会の決議を経ることなく行う予定です。また、現時点では、会社法第 467 条第１項第２号括弧書の規定により、ジャルコにおける株主総会の決議も経ることなく行う予定ですが、今後、本件譲渡の範囲・方法・条件等が確定し、ジャルコにおいて株主総会の決議が必要となった場合には、その日程につきまして、別途お知らせいたします。

７．会計処理の概要

確定次第、お知らせいたします。

８．今後の見通し

本件譲渡により、電子機器用部品事業を再編することで、当該事業にかかる費用を大きく合理化することが可能になると判断しております。本件譲渡後における電子機器用部品事業の事業計画は、現在、策定中でありますが、平成 25 年３月期の連結業績に与える影響については、譲渡価額など本件譲渡にかかる諸条件の決定と合わせて、確定次第、お知らせいたします。

以　上